

公開シンポジウム「名古屋の観光まちづくり」

名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部では、昨年度から「観光研究・プロジェクトチーム」を立ち上げ、名古屋の観光や交流、「名古屋学」について学際的に調査研究を進めている。その成果を学部総合科目「名古屋の歴史・文化・まちづくりと観光」という講義に反映させている。今年3月には、プロジェクトチームの教育研究の成果を報告書として刊行し、今年度の講義テキストとして活用している。

今回、名古屋市立大学と日本政策投資銀行との連携事業として、12月12日(水)13時から中区役所ホールにて「名古屋の観光まちづくり」という公開シンポジウムを開催することになった。シンポジウムは「観光まちづくり」という視点から、名古屋の個性と魅力を活かした交流の促進、観光の振興やまちづくりに向けた課題をさぐることを目的としている。



シンポジウムでは、まず日本政策投資銀行地域振興部参事役の藻谷浩介氏による基調講演が行われる。それにJR東海相談役の須田寛氏、都市研究所スペース代表取締役の井澤知旦氏、名古屋市市民経済局文化観光部長の別所眞三氏、研究科の服部幸造氏、それに藻谷氏をパネラーにパネル討論がつづく。わたしがコーディネーター役を務めるので今から緊張気味だ。

上記の写真はシンポジウムのチラシに使ったものである。大きな会場なので、ぜひ多くの人に参加してもらいたい。チラシは「山田ゼミ」のコーナーに掲載してある。

(2007年11月12日 記)